

四月十八日金婚式の日には御繁忙の中をわざわざ御来駕を賜り御祝辞、御祝ひを下さしまして有難い事で御座いました。

私共幸ひ健康に恵まれ良い仕事に恵まれ、良い趣味にも数多くの良い知人にも恵まれ、生甲斐多い生活に恵まれて居りますのも、皆々様の日頃の御支援の賜と有難い日々を感謝して毎日を送らせて頂いて居ります。

何をもって御礼をさせて頂くかわからなくて、あれから紐作りの湯呑を作り始めやっと出来上がりました。不出来な湯呑ですが御礼の心を込めて作り上げました。御笑納賜れば身の光榮で御座います。

今後共迪子共々健康向上に心懸け充実した余生を送り度く祈念して居ります。今後共変らぬ御支援御導きを御願ひ申し上げます。手造りの湯呑に添へて改めて御礼を申し上げます。

昭和六十二年秋

眞 吾
迪 子